

大河

No.162

2023

4.25

令和5年3月定例会

千代田町議会だより



笑顔の旅立ち

表紙の説明は最終ページをごらんください

特集

- ふるさと納税で新たな施策……………P.2
議会在注目004事業
- 本町初!! 60億円台の当初予算……………P.4
令和5年度予算審査特別委員会
- 議案の質疑……………P.6
令和5年3月定例会
- 一般質問 そここが聞きたい……………P.8
6人の議員が登壇
- 委員会のうごき…………… P.12
良いまちづくりへ「人財」育成/こども園民営化、今は考えていません
- 議員報酬25年ぶりに改定…………… P.16
3年ぶりに議会報告会が開催される…………… P.18



読み込むと、議会ホームページが開きます



Pick up 01 入学祝金 事業

小・中学校入学時における家庭の経済的負担を軽減するとともに入学を祝福し、児童生徒の健全な育成を支援することを目的に入学祝金を支給します。支給額：入学時 50,000円

現金ではなく制服や体操着など現物支給が良い。

とてもありがたい。家計が助かる。子供の部屋を作ったので、机やベッドなどを買いたい。



たての まさゆき
館野 昌幸さん
(上中森)

かの か
華乃香さん

くりばら まさのり
栗原 正悟さん

うたのさん
(舞木)

あきこ
亜季子さん

議会が注目 4 事業

ふるさと納税で新たな施策

取材日：3月23日 場所：東西小学校 卒業式終了後、保護者の方にインタビュー

ふるさと応援寄附金額が役場職員の日々の努力により年々記録を更新しています。寄附金をどのようなことに使用するのか町民が注目するところかと思えます。令和5年度予算では、寄附金を原資とした総額1億円の新たな施策を実施します。議会では、子育て関連全13事業から3事業、その他のサービス4事業から1事業に注目して取材をしました。



Pick up 02 育児用品 購入費 助成事業

乳児が1歳未満までの保護者が購入した育児用品に対し、上限12,000円を助成していますが、令和5年度は3歳未満になるまでに延長し、助成額も増額します。助成額：36,000円/年

子育てしやすい町になってもらいたい。

育児環境を整えることは町の発展につながっていると思います。



たかはし えみ
高橋 恵美さん

こう
洸さん
(福島)

ゆう
憂さん

しまだ れな
島田 麗奈さん
(上中森)

あきこ
明子さん



Pick up
03 地域活性化
キャッシュレス
決済事業

対象店舗でキャッシュレス決済を利用した際にポイント還元を受けられるキャンペーンを実施するとともに、事業者に対し決済手数料の一部を補助します。

ポイント還元があるというので、熊谷まで行っていた。町内でもそうなると助かる。

色んなお店でつかえるようになればいいな。

町内で電子決済ができるようになれば便利になると思います。



くまき じゅんいち
熊木 純一さん
(舞木)



すずき かずみ
鈴木 和美さん



はると 悠仁さん
(赤岩)



しげゆき 重行さん



よしだ ゆういち
吉田 優一さん
(下中森)



その他にも新たな施策は13事業があります

切れ目のない子育て支援を継続して実施してもらいたい。



おざわ あいこ
小澤 愛子さん

ゆきさん
(上五箇)

りゅうたろう
龍太郎さん



詳しくは広報
ちよだ3月号
をご覧ください



Pick up
04 高校生等自転車用
ヘルメット
購入費補助事業

高校生世代に対し、自転車用ヘルメットの購入に要した一部を補助します。
助成額：購入額の1/2（上限5,000円）

半分しか出ていないが、それでもあればいい。子どもにちゃんと着けさせようと思う。

かぶる人が増えると思う。わざわざ買うのは大変なので、買うきっかけになる。



のむら ともえ
野村 智恵さん

さき 紗季さん
(福島)

ひろゆき 浩之さん



かわさき ひろみち
川崎 広道さん



なる 成さん
(赤岩)

ちほ 千穂さん

本町初!!

60億円台の当初予算

第六次総合計画の各種事業に重点的に予算配分

～切れ目のない子育て支援など新たな施策を展開～

各会計課予算を徹底審議

審査年月日：令和5年3月14日(火)、15日(水)

審査会場：全員協議会室

委員構成：12名全議員

委員長 森 雅哉

副委員長 酒巻 広明



群馬クレインサンダースの選手

子どもたちがプロ選手と交流

問 プロバスケットボールプレシーズンマッチの開催時に、小中学生と交流をする機会は。

答 試合前に交流する機会を設けます。

主な質疑

図書が拡充！読書しませんか



問 図書館の利用者が増えるように増やしていくのか。

答 改良型の窓口受付システムを導入し予約など利便性の向上を図ります。

楽しく運動しませんか



問 東部運動公園にイリミネーションを設置する目的は。

答 コミュニティセンターからサッカー場の東屋付近までの歩道に設置し、歩行者の安全と新たな施設利用者の増加につなげるためです。

災害用ハザードマップの確認



問 今回作成するハザードマップの内容は。

答 利根川だけでなく中小河川が氾濫した場合の情報も掲載します。

犯罪抑止効果に期待

問 防犯カメラの設置箇所は。



地域の安全を見守る

答 新たに通学路等2箇所を予定、場所については警察なども協議していきます。

乗用草刈機購入へ

問 なぜ公道走行可能な乗用草刈機を購入するのか。

答 草刈作業において公道を走行する場面もあるため、小型特殊自動車に該当する草刈機を購入します。



好評だった都庁物産展

官民連携で町特産品と本町のPR

問 物産展で町特産品を生産者と一緒に販売できないか。

答 コロナ禍で販売人数など制限があり職員のみで販売していたが、緩和されれば生産者と

一緒に販売していきま

す。
買い物客の
利便性向上へ

問 キャッシュレス決済導入費補助金の件数は。

答 事業者が対象カ

ドリーダを購入するにあたり上限4万円を35件分です。

ローラースライダー
がリニューアル

問 なかさと公園の遊具が老朽化しているが。

答 ローラースライダーのローラを令和4年度から5年間で交換する予定でしたが、「ふるさと納税」を原資として残り4年分を令和5年度にすべて交換します。

早めの相談で
介護予防



問 地域包括支援センターの状況は。

答 年間300件程度相談があり、今後も町民に寄り添いながら介護予防につなげます。

中学校の建替え

問 義務教育施設改築基金の積立目標は。

答 目標は設定していませんが、財源があるときには積極的に積立を行っていきます。

いつでもどこでも
行政手続きができる

問 どのようにマイナンバーカードを活用し住民サービスの向上と職員の業務効率化につ



オンラインでらくらく手続き



CO₂排出削減中

なげるのか。

答 マイナポータルから来庁予約をすることでスムーズに窓口対応でき負担軽減につながります。

補助金の件数は。

答 太陽光発電システム及び蓄電池の設置として13件分です。

ゼロカーボン
シティへの取組



問 住宅用太陽光発電システム設置にかかる



さらに詳しく



令和5年度予算に関しては
広報ちよだ4月号もご覧ください

令和5年 3月定例会

3/8 ▶ 3/17
(10日間)

本会議

8日 一般質問
9日・17日 議案審議他
常任委員会
10日 総務産業
文教民生

令和5年第1回議会定例会が、3月8日から17日までの10日間の会期で開かれ、規約変更、条例の制定や改正、令和5年度一般会計補正予算等上程され、慎重に審議を行いました。また、6名の議員が一般質問に立ち、町の考えについて質問しました。

主な質疑

補正予算 (第10号)

77本を廃棄

問 コロナワクチンを接種しないで廃棄されたものはあるのか。
答 従来型コロナワクチンを10月21日に有効期限切れで77本を廃棄処分しました。

園児減少で

問 こども園の人材派遣委託費減額の要因は。
答 こども園への入園



子どもに寄り添った保育教育

者数が当初見込みより少なく、正規職員及び会計年度任用職員また、人材派遣2名で対応でき、人材派遣1名分を減額しました。



犯罪被害者等支援シンボルマーク

問 DV加害者等が、被害者情報を聞きに来た時は。
答 行政と警察で情報共有し、個人情報保護します。

被害者を守ります

千代田町犯罪被害者等支援条例の制定

人事案件

千代田町 固定資産評価 審査委員

千代田町固定資産評価審査委員の選任につき、同意を求める議案が提出され、同意しました。

原 直子 氏
(再任・舞本)

発議

千代田町議会の 議員の議員報酬 及び費用弁償等 に関する条例の 一部を改正する 条例

議員のなり手不足を鑑み協議した結果、議員報酬を2万円増額することにしました。

詳しくは、16ページをご覧ください



審議議案と議員の賛否 (第1回定例会)

上程された議案・概要・結果	金子浩二	橋本博之	原 剛	大澤成樹	酒巻広明	橋本和之	大谷純一	森 雅哉	川田延明	高橋祐二	柿沼英己	小林正明	議決結果 (賛成：反対)
専決処分事項													
◇令和4年度千代田町一般会計補正予算(第9号) 【ふるさと応援寄附金が大幅に増加していることを受け、基金積立金、ふるさと応援寄附金の返礼品代を追加するほか、出産・子育て応援給付金等を予算措置するもの。】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認(11:0)
規約変更													
◇群馬県市町村総合事務組合の規約変更に関する協議について 【組織団体である桐生地域医療組合の名称が桐生地域医療企業団となり、新たに吾妻環境施設組合が組織団体となる。】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(11:0)
◇群馬県市町村公平委員会共同設置規約の変更に関する協議について 【公平委員会を共同設置する団体に、桐生地域医療企業団、及び富岡地域医療企業団が新たに加入する。】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(11:0)
条例制定													
◇千代田町条例の点検に伴う関係条例の整理に関する条例の制定 【改正を必要とする条例が複数あったことに伴い、一部改正をまとめて行うため、関係条例の整理に関する条例を制定するもの。】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決(11:0)

上程された議案・概要・結果	金子浩二	橋本博之	原口剛	大澤成樹	酒巻広明	橋本和之	大谷純一	森雅哉	川田延明	高橋祐二	柿沼英己	小林正明	議決結果 (賛成：反対)
◇千代田町犯罪被害者等支援条例の制定 【犯罪被害者等基本法の基本理念を踏まえ、町の責務、町民及び事業者の役割を規定するとともに、受けた被害の早期回復又は軽減、犯罪被害者等の権利利益の保護を図り、町民が安心して暮らすことができる地域社会の実現を目的として、新規制定するもの。】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (11:0)
◇千代田町学校給食費に関する条例の制定 【町が実施する学校給食に係る、学校給食費の取扱いに関して、必要な事項を条例で定めるもの。】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (11:0)
条例改正													
◇千代田町特別職の職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例 【町長、副町長及び教育長の給料月額を、それぞれ、平成16年4月の減額前の額に戻す改正を行うもの。】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (11:0)
◇千代田町国民健康保険条例の一部を改正する条例 【出産育児一時金の支給について、健康保険法施行令等の一部改正に伴い、出産育児一時金の支給額について、40万8千円から48万8千円に引き上げるもの。なお、産科医療補償制度の加算対象となる出産に係る出産育児一時金の支給額は50万円となる。】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (11:0)
◇千代田町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び千代田町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 【厚生労働省令の施行に伴い、省令の内容に準じて定められている千代田町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び千代田町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例について、所要の改正を行うもの。】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (11:0)
◇千代田町子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例 【子ども・子育て支援法の一部改正に伴い、千代田町子ども・子育て会議条例において所要の改正を行うもの。】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (11:0)
◇千代田町小口資金融資促進条例の一部を改正する条例 【県と連携する小口資金の制度融資について、返済負担の軽減措置として、平成15年度から適用している借りかえ制度を令和5年度も引き続き実施することが決定し、群馬県小口資金融資促進制度要綱の一部が改正されることに伴い、町の条例についても同様の改正を行うもの。】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (11:0)
町道路線の廃止・認定													
◇町道路線の廃止・認定 【赤岩地内の道路改良工事等に伴い、道路法に基づき1路線の廃止、並びに2路線の認定を行うもの。】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (11:0)
補正予算													
◇令和4年度千代田町一般会計補正予算(第10号) 【歳入並びに歳出の精査を行い、7,940万円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ89億3,937万9千円とするもの。】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (11:0)
◇令和4年度千代田町国民健康保険特別会計補正予算(第3号) 【歳入並びに歳出の精査を行い、871万8千円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ12億9,609万4千円とするもの。】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (11:0)
◇令和4年度千代田町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) 【歳入並びに歳出の精査を行い、351万2千円を追加し、予算の総額を歳入歳出それぞれ1億5,553万8千円とするもの。】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (11:0)
◇令和4年度千代田町介護保険特別会計補正予算(第4号) 【歳入並びに歳出の精査を行い、4,457万4千円を減額し、予算の総額を歳入歳出それぞれ、10億1,562万2千円とするもの。】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (11:0)
◇令和4年度千代田町下水道事業特別会計補正予算(第2号) 【歳入並びに歳出の精査を行い、312万5千円を減額し、予算の総額を歳入歳出それぞれ2億9,338万円とするもの。】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (11:0)
人 事													
◇千代田町固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めることについて 【任期満了となる原直子氏を引き続き固定資産評価審査委員に選任するため議会の同意を求めるもの。】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意 (11:0)
発 議													
◇千代田町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例 【議長、副議長、常任委員会委員長、議会運営委員会委員長及び議員の議員報酬月額を一律に2万円の増額とし、議会広報編集委員会委員長においても常任委員長と同額の報酬とするもの。】	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	×	○	可決 (8:3)
予 算													
◇令和5年度千代田町一般会計予算 【予算総額65億1,500万円、前年度対比10億3,200万円(18.8%)の増額。】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (11:0)
◇令和5年度千代田町国民健康保険特別会計予算 【予算総額13億1,005万4千円、前年度対比5,453万4千円(4.3%)の増額。】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (11:0)
◇令和5年度千代田町後期高齢者医療特別会計予算 【予算総額1億6,160万9千円、前年度対比744万4千円(4.8%)の増額。】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (11:0)
◇令和5年度千代田町介護保険特別会計予算 【予算総額10億4,071万8千円、前年度対比4,706万9千円(4.7%)の増額。】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (11:0)
◇令和5年度千代田町下水道事業特別会計予算 【予算総額3億1,186万8千円、前年度対比1,865万2千円(6.4%)の増額。】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決 (11:0)

※議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します。(○は賛成、×は反対、欠は欠席)

一般質問

そこが聞きたい 6議員が登壇

一般質問とは議員一人の持ち時間が決められており、(本町は答弁も含め40分以内) その中で、町長や町行政機関に対し、町の施策等、考えや、報告、説明を求め、または、質疑をすることです。ここでは、各議員1項目についてダイジェスト版でお知らせします。

森 雅哉 議員

P.9

① 町民の文化活動の活性化について

大谷 純一 議員

P.9

① 今後の英語教育の展開について
② 給食費について

柿沼 英己 議員

P.10

① 道路分野におけるカーボンニュートラルへの貢献について

橋本 和之 議員

P.10

① 定住・移住策について

原口 剛 議員

P.11

① ecoパークでのリサイクル率向上とごみの現状について
② 商業用地残り3.9haへの誘致と第2、第3工業団地アクセス道路について

大澤 成樹 議員

P.11

① 本町におけるeスポーツの活用について

WEBで議会を見よう！
会議録にて全文を見ることができます。

注) 公開までには一定の期間を要します。



SDGs (エスディーゼーズ) とは、地球で暮らし続けていくために達成すべき17の目標

本町では、第六次総合計画にこれらの考えを取込みながら、SDGsの達成に貢献できるよう取り組んでいます。本町議会でも、これらを取入れ、各議員の一般質問に関連するロゴを掲載しています。





森 雅哉 議員 MORI MASAYA

町民の文化活動の活性化を

【町長】関心を高めていきます

町長 文化協会に所属するメンバーは。活動費が所属団体へ補助されます。また、町民プラザが無料で利用できます。

町長 文化協会への所属について関与しているのか。

町長 各団体の自由ですが、加入促進に努めています。

町長 ウェブサイトで各団体活動の詳細をもっと増やせないのか。

町長 文化活動がより活性化するように改善を図っていきます。

//つぶやき//

本町での文化活動が活性化すると、楽しさが増していきます。



文化協会は創立50周年を迎えました

町長 サークルへのお試し参加や自由参加は。

町長 会の代表者等へ意向や受入れ態勢を確認し、必要に応じて情報提供を行います。

町長 撮影スタジオを作り、町民が利用するのは。

町長 先進事例である本県の「ツルノス」について研究をしています。

町長 文化活動の活性化は。

町長 文化活動の中心的な組織は文化協会ですが、会員数は減少しています。もっと文化振興に対する関心を高めていきます。



大谷 純一 議員 OYA JUNICHI

今後の英語教育の展開は

【教育長】英語に触れる機会を増やします



//つぶやき//

英語の千代田と言われる知名度になって欲しいです。

町長 今後の英語教育の展開は。

町長 日常的に英語に触れる、触れさせる機会を増やします。

令和5年度の学校教育目標に3つの柱を掲げ、NIE・ICTとともに英語教育を1本の太い柱にします。こども園ではALIT（外国語指導助手）の勤務体制を1か月の交代勤務から午前・午後の帯状勤務に変更します。小学校では英語ルームの設置や放課後英語教室などを計画しています。中学校では英語での事例発表・スピーチコンテストなどを通して中学校3年

生で英検3級合格を目指します。

町長 英語ルームとは。

町長 小学校にALITが常駐していつでも話ができること、英語ルームに行くこと、掲示板や音楽などから外国文化に触れることができる部屋です。



今年度の外国語指導助手



※ NIE・ICT

NIEとは、Newspaper in Educationの略で授業で新聞記事を活用する。ICTとは、Information and Communication Technologyの略で、情報通信技術のこと。



柿沼 英己 議員 KAKINUMA HIDEMI

カーボンニュートラルへの貢献は

【町長】早期実現に向け、要望を行います

問 利根大堰の工事実績と、今後の直線化の予定は。

建設環境課長

令和元年度にカーブを緩やかにするための道路拡幅工事が実施されました。現在のところ、直線化の予定はありません。

問 利根川新橋が交通渋滞を解消し、カーボンニュートラルへ貢献することをどう発信して、陳情していくのか。

建設環境課長

慢性的な交通渋滞は、環境負荷を増大させる原因となるため、環境面からも利

根川新橋の重要性について訴えかけていければと考えています。

問 道路分野におけるカーボンニュートラルへの貢献は。

町長 道路分野で関連する

宣言は「温室効果ガス排出量ゼロ」です。広域的な道路ネットワークの構築や利根川新橋の建設により渋滞緩和によるCO₂排出量を軽減できます。

このためにも利根川新橋の早期実現について、国・県に要望を行います。

早く要望が実現するよう、議員一同、頑張りましょう！



道路拡幅工事された利根大堰

11 住み続けられるまちづくりを



橋本 和之 議員 HASHIMOTO KAZUYUKI

移住定住ポータルサイトを訪れた人は

【町長】8000件を超えています



群馬県の公教育のレベルが高いという情報を得ました。今後のアピールポイントになりますね。

問 本町HPの移住定住ポータル「ちよだぐらし」の出来栄えが非常に良いが移住希望者やサイトを訪れた人の評価や感想は。

町長 生の声を聴く機会はありませんでしたが、閲覧数は8000件を超えています。

問 サイト内の観光コースが1つしかないのでは増やす考えは。

産業観光課長

今年1月に寺泊が始まりました。本町にはたくさんの観光スポットやイベントがありますので情報発信の充実を図っていきます。

問 ぐんまちゃん家が撤退となった。代わりにPRは。

産業観光課長

様々な場所で物産展を開催しました。特に都庁での物産展が大盛況でしたので来年度も行います。

問 群馬県は公教育のレベルが高く、東京と比べ教育費の出費が少ないようですが、今後のPRに加えてみ

町長 本町の代表的施策として、英検助成事業や給食費の半額補助などがあります。更に、来年度からは「ふるさと納税を原資とした施策」で、住民サービスの向上を図ります。



完成度の高い移住定住ポータルサイト



原口 剛 議員 HARAGUCHI TAKESHI

12 つくる責任 つかう責任



令和4年度のリサイクル率は

【建設環境課長】20%を超えると見込んでいます

問 ちよだecoパーク東で回収された量を把握しているのか。

建設環境課長

各ステーションと合わせて回収するため、把握することができません。

但し、ガラス類・陶磁器類・プラスチック製品・金属類・小型家電は回収業者が個別回収し、月毎の量は把握しています。

問 令和2年度の本町のリサイクル率は16.6%で県内12位です。

令和4年度のリサイクル率は。

建設環境課長
令和3年度の実績を基に試算すると、令和4年度は20%を超えるものと見込んでいます。

問 可燃ごみと不燃ごみの回収量が令和3年度と比べると減少しているが、ecoパークでの回収が増え各ステーションでの回収量が減少したのか。

建設環境課長

約10カ月間で3,842人が利用し、資源物としてecoパークに持込まれたため、各地区のステーションでの回収量が減少したものと考えます。

//つぶやき//
リサイクル率向上で綺麗な町にしたいです。



可燃ごみの回収量が減少しました

3 すべての人に健康と福祉を



大澤 成樹 議員 OSAWA NARUKI

eスポーツ※を活用した取組みは

【町長】今のところ行っていません



//つぶやき//
地域の抱える課題解決に向けてeスポーツの活用も。

問 町内において行政、民間にかかわらず、eスポーツ大会やゲームを活用した取組みは。また、問合せがあったときの対応は。

町長 今のところ行っていません。担当課は、企画財政課です。

問 不登校、ひきこもり対策としてeスポーツを活用した事例は。また、今後の検討状況は。

教育長 フリースクールを運営するNPO法人などが活用している事例があります。

町民の皆さんも企画等を町に提案してもらい、官民連



※ eスポーツ

eスポーツとは「Electronic Sports (エレクトロニック・スポーツ)」の略称で、モバイルゲームやビデオゲームを使った対戦をスポーツとして競技性のニュアンスを加えたものです。知略や戦略、プレイヤースキルなど競技性を含むため、スポーツとして捉えられています。

携の事業展開がよいと思います。



まちづくりの一助にeスポーツを

良いまちづくりへ 「人財」育成

委員会では、3月10日に町と「人材交流について」の意見交換や本会議以外であった出来事の報告などについて協議しました。また、委員会で実施した視察研修など委員会活動を報告します。



広域公共路線バス経路地見直し 利便性の向上を考慮します



広域公共路線バス
詳しくはこちら



今春、明和町にコストコがオープンすることに伴い、館林・明和・千代田線において日中の時間帯の運行経路をコストコ経由への見直しを検討しています。

議員 周知と利用者の利便性を考慮した時刻表の見直しも必要では。

執行部 利用者の利便性を考慮し運行時刻も協議します。決定後は、ルートと時刻表を町HPなどで周知します。



更なる町の活性化へ 目的達成につなげるのが大切



より良いまちづくりには「人財」育成が大切と考え、町職員を県や、民間企業へ人材交流を積極的に行っています。

議員 民間から専門的知識のある方を町職員に招くことや、研修会を行うことが大切と考える。

執行部 目的を明確にして目的達成につなげるのが大切、機会があれば有識者を招いての勉強会や先進地視察などを行い調査研究したいです。

町長 人は「財産」、交流にもメリット・デメリットもあるが近い将来、民間企業の方が行政運営に広く携わると考えます。今後も機会があれば積極的に「人財」交流を行います。



河川状況はライブ映像で確認 町HPなどで周知します



ライブカメラ
詳しくはこちら



監視カメラからの利根川

本町河川監視カメラは、①商工会の南側、②舞木(中島)二ノ堰橋付近、③赤岩渡船場に整備され、ライブ映像は町HPや館林ケーブルテレビで確認できます。

議員 周知が足りていないのでは。

執行部 町HPや自主防災連絡協議会の会議で台風シーズン前までに周知します。



都市計画道路及び延伸道路 令和6年度の開通を目指す



延伸工事
詳しくはこちら



新たな都市基盤として、道路新設改良事業を進めます。

議員 都市計画道路赤岩・新福寺線及び延伸工事の進捗状況は。

執行部 延伸工事を開始しました。令和6年度の開通を目指して事業を進めています。

清潔で快適な生活環境の実現

■ 令和5年3月29日実施 ■ 場所：大泉外二町環境衛生施設組合内清掃センター・最終処分場

清掃センターでは令和3年3月31日をもって焼却処理を終了しました。

ごみステーションに出せない一般家庭の粗大ごみの自己搬入は、継続して受入していく予定であることを確認しました。

木材や小型家電を運搬用コンテナに細かく詰め込み、処分費用の削減を図っていることやプラスチック類、鉄くずなどの資源物を売却して費用負担軽減に努めていることを視察で知りま

した。

最終処分場では、これまで埋め立てられた焼却灰を安全に管理するため、徹底した浄水処理を行っていることを確認しました。本町でも、清潔で快適な生活環境を実現するためには、ごみの排出量削減を図っていくことが重要であると感じました。

橋本 博之 記



粗大ごみも分別され資源化されています

清掃センター
詳しくはこちら



最終処分場
詳しくはこちら



視察を終えて議員の一言



資源循環型社会の創出・環境への負担低減につなげる取組。

酒巻



ごみの処分は環境とお財布に負担が大きかったです。

橋本博之



大泉外二町の粗大ごみ受入所は今後も残してほしい。

高橋



積極的にごみ減量とリサイクルに取り組んでまいります。

川田



普段は見られない最終的なごみの行き先が確認できました。

橋本和之



資源ごみの再利用は、地球環境保全に役立つと認識した。

小林

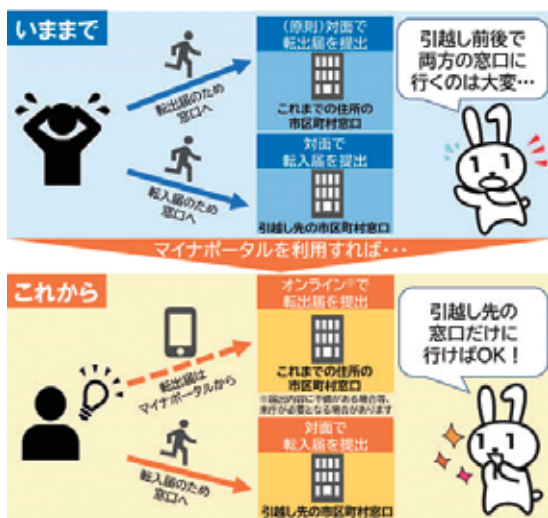
こども園民営化、今は考えていません

委員会では、3月10日に町と「こども園の民営化について」の意見交換や本会議以外であった出来事の報告などについて協議しました。また、委員会で実施した視察研修など委員会の活動を報告します。

報告

転出届は

オンラインで可能



マイナンバーカードをお持ちの方は、マイナポータルから転出届をオンラインで提出できます。

意見交換

こども園の民営化について

考えていません



- 議員** 町のスタンスは。
- 執行部** 今は考えていませんが、皆さんと議論を深め調査、研究は必要です。
- 議員** 職員の待遇や運営事業者の問題は。
- 執行部** 東こども園が老朽化のため東西の統合なども模索する必要があります。
- 議員** 子どもや保護者の事を考える必要があると思います。

質疑

部活動指導員は

令和4年度は3名です



- 議員** 部活動指導員の予算が減ったのは。
- 執行部** 県補助分を国が負担したためです。令和4年度は3名体制でした。

報告

住民健診

受診方法が変わります



広報ちよだ
3月号(P.6)に掲載
詳しくはこちら



送付される「各がん検診、KARADAスマイル健診受診票」が「受診シール」に変更となります。

明日の千代田を担う子どもたち

■ 令和5年1月26日実施 ■ 場所：千代田西小学校

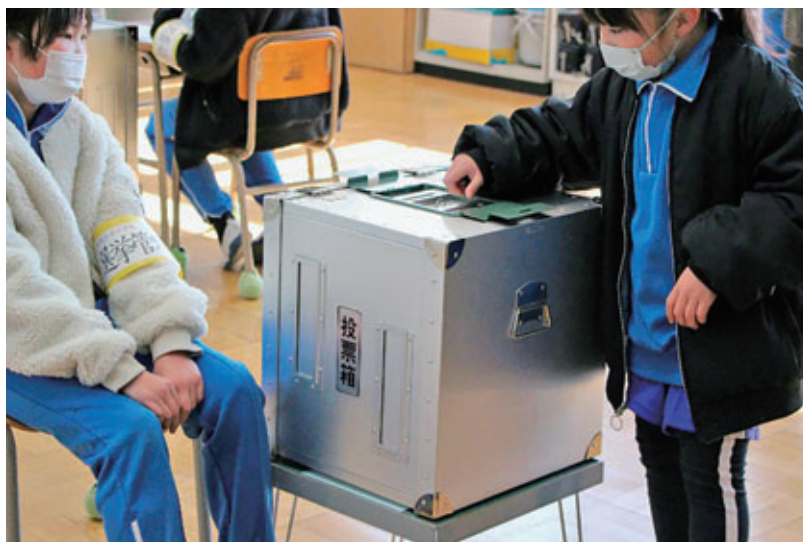
千代田西小学校で児童会役員選挙が2日間にわたり行われました。担当した石井先生によると以前はコロナ禍のため、タブレットで録画された候補者の演説を見て、タブレットで投票という電子的なものでしたが、今回は子どもたちに本物を経験して欲しいとの願いで町の選挙管理委員会から実際の選挙で使う投票箱と記載台を用意し4年生と5年生が投票しました。

特に4年生では男子1名に対し5名、女子1

名に対し10名が立候補しました。4年生の選挙演説を見学しましたが、それぞれの候補者が西小を良くしたいという思いを述べ投票を呼びかけていました。4年生女子では学年女子40名のうち10名が立候補するという大激戦です。

将来、児童会・生徒会の延長として町を良くしたいという若者が育ってくれればと願うばかりです。

大谷 純一 記



選挙管理委員も設置し本格的な模擬選挙を体験

視察を終えて議員の一言



立候補者の演説は、皆さんとても素晴らしかったです。

森



将来が楽しみです。今の気持を忘れず育って貰いたい。

金子



立候補者の西小を思う熱意に感動

柿沼



大人になっても、今回の経験を糧にして投票して欲しい。

大谷



選挙を身近に感じ、興味を持ってください。

大澤



素晴らしい取組みで、将来が楽しみです。

原口

議員報酬25年ぶりに改定!!

議員定数・報酬改定の経緯

1月25日発行の大河161号にも掲載しましたが、議員定数は平成19年より現行の12人としていて、前回の町議会議員選挙が無投票だったこともあり、定数を減らすか現状維持かが1つの焦点でした。

平成の行財政改革ではどの自治体も合併が推進された時代であり、議員定数を減らすことで、財政支出が抑えられるというメリットがあるものの、二元代表制(町長と議会)の衰退を招くというデメリットも一方ではありました。

また、無投票の選挙があるたびに議員定数を減らすという負のスパイラルも招く恐れがあり、無投票にならないにはどうしたら良いか議会では審議を重ねてきました。

候補者数と議員定数の関係

本町の議会議員選挙	立候補数	議員定数
2020 (令和2年)	12人	12人
2016 (平成28年)	13人	12人
2012 (平成24年)	14人	12人
2008 (平成20年)	14人	12人
2004 (平成16年)	17人	16人
2000 (平成12年)	21人	16人
1996 (平成8年)	18人	18人
1992 (平成4年)	19人	18人

※ は無投票の年。



定数を減らすだけでは、根本的な解決にはならないね。

議員定数は賛成多数で現状維持に決定

2月8日の議会改革推進特別委員会にて、現状維持としました。

賛成意見としては、これ以上の定数削減は議会機能を維持できないとの理由からでした。議会では議場にて議員12人全員で審議する本会議のほか、議会全員協議会、予算・決算審査特別委員会も議員全員で協議しますが、総務産業常任委員会と文教民生常任委員会は議員を半数にして詳細に審査する機関です。また、皆さんがご覧になっている議会広報紙大河も8人が作成に携わっています。

議会としては報酬4万円増額を提案

議会としては多様な人材が議員として町の行政に携わるためにも、議員報酬を増額し、なり手不足の解消になるか審議しました。現状の議員構成は自営業主や会社経営者、農業などで、若い社員が職を辞してまで飛び込める報酬形態ではないというのが問題であり、課題であります。そこで、町長の給料と活動日数に対して議会の活動日数が年間どのくらいあるのか調査し、計算したところ4万円の増額との結論に至りました。

議員報酬の考え方

議員のなり手不足の大きな要因の一つと指摘されている町村の低額な議員報酬の充実に向け、全国町村議会議長会で地方議員報酬を算定する際に推奨している計算式である「原価方式」による議員報酬の算定モデルを利用しました。

$$\text{議員報酬額} = \frac{\text{議員の活動日数}}{\text{首長の職務遂行日数 (モデル305日)}} \times \text{首長の給料}$$

3月9日の本会議において議員報酬を2万円引き上げる条例改正が賛成多数により可決しました。
令和5年4月より施行されます。

特別職報酬等審議会に具申(意見を聴く)

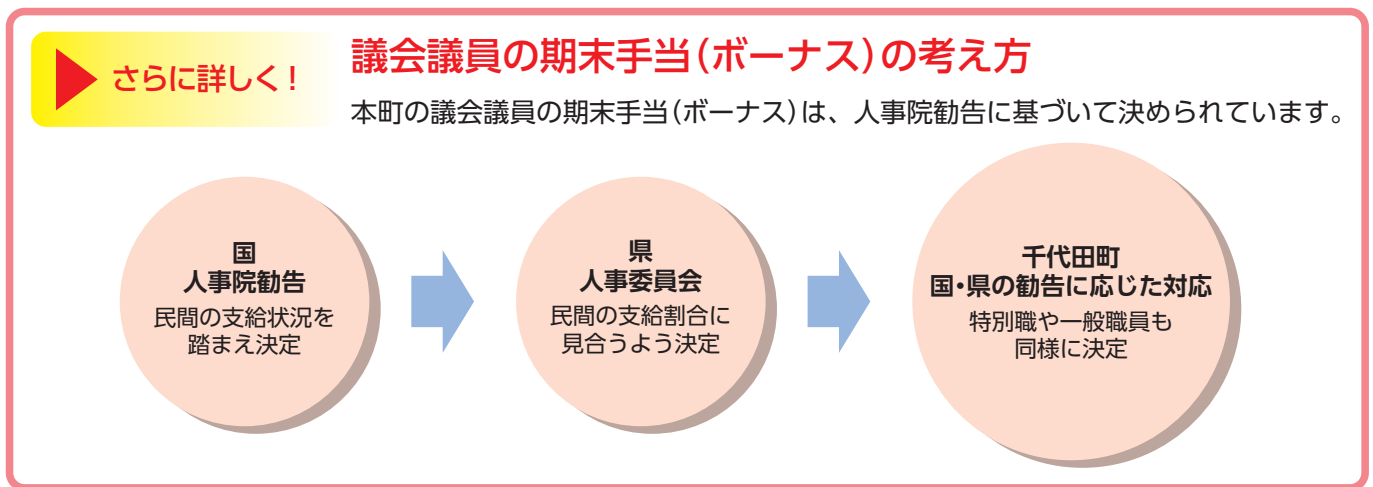
報酬を改定する手続きとして、議会の考えを町民の有識者で構成される千代田町特別職報酬等審議会に審議してもらうことになります。

結果は4万円ではなく2万円の増額

審議会の回答は議員定数について昭和38年、平成11年、平成17年、平成19年と過去4回にわたり定数削減を行っていることを考慮しつつ、原価方式での報酬算定により、各役職4万円の増額になることは理解できるが、改定幅が大きいため、2万円となりました。議会では審議会の意見を尊重し、本会議の採決の結果、賛成多数で改定されることに決定しました。

役職	現行	改定後
議員	220,000円 (年間3,801,600円)	240,000円 (年間4,147,200円)
広報編集委員長	220,000円 (年間3,801,600円)	245,000円 (年間4,233,600円)
議運委員長	225,000円 (年間3,888,000円)	245,000円 (年間4,233,600円)
常任委員長	225,000円 (年間3,888,000円)	245,000円 (年間4,233,600円)
副議長	243,000円 (年間4,199,040円)	263,000円 (年間4,544,640円)
議長	318,000円 (年間5,495,040円)	338,000円 (年間5,840,640円)

※年間額は賞与を含んだ金額で人事院勧告等により変動します。



協議事項	金子 浩二	橋本 博之	原口 剛	大澤 成樹	酒巻 広明	橋本 和之	大谷 純一	森 雅哉	川田 延明	高橋 祐二	柿沼 英己	小林 正明
議員定数の削減について												
議員定数を現状維持とすべき	×	○	○	○	×	○	○	×	○	×	○	—
議員報酬の増額について												
議員報酬を増額すべき	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	○	—

※小林議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します (○は賛成、×は反対)

※上記は委員会内の採決であり、最終的な採決はP.7をご覧ください。

3年ぶりに議会報告会が開催される



第8回『議会報告会』が令和5年2月25日(土)に総合保健福祉センターにて開催され、町内外から過去最多、84名のみなさんにご参加いただきました。

報酬改定
お金はきれいに
わかりやすく

町民の声
 月給制ではなく、賞与も含めた年収で表示するべきでは。

議会の回答
 賞与は人事院勧告によって毎回異なるため、月の報酬のみを表示しました。今後公開します。

中学校老朽化
将来を見据えた
対応を

町民の声
 小中一貫校も含めて建替え等の問題は早く町民にアウンスしてもらいたい。

議会の回答
 通学バス導入などの問題も考えた上で色々な状況もあり、何が適切なのかを町と協議し早く町民に周知したいです。

私も一言
 水害対策もお願いします



たしろ まさお
田代 正夫さん
(舞木)



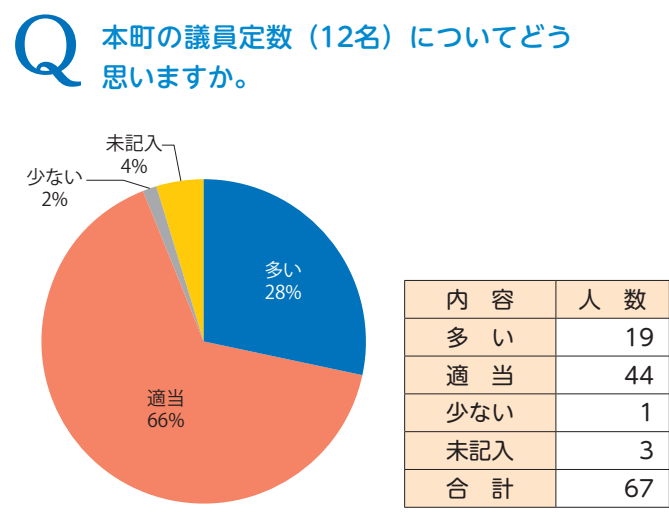
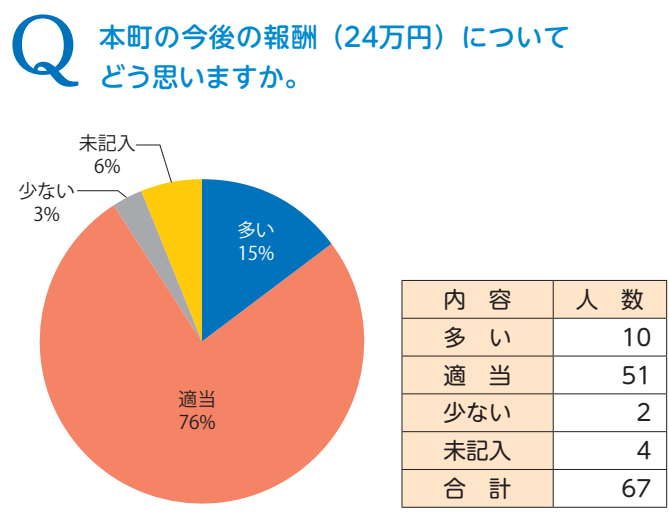
こばやし ゆきお
小林 幸男さん
(舞木)

防災・減災
攻めの防災対策を

町民の声
 最大浸水深看板の設置や避難場所確保という守りの政策ではなく、利根川の堤防強化や川底を深くする等の根本的解決をして欲しい。

議会の回答
 利根川は国交省の管轄で川の下流から順次、浚渫を行っている。さらに要望していきます。

報告会のアンケート結果



開かれた議会を目指して

■ 令和5年3月27日実施 ■ 場所：邑楽町役場

全国的にペーパーレス化への対応が求められています。邑楽町では、令和2年8月に「議会のICT化」が提案され、令和3年5月から運用開始し、令和4年9月からペーパーレスでの本会議が実施されていました。

タブレット端末を導入したことで、コピー用紙が約10万枚/年、金額は約50万円/年削減されていました。

本会議での一般質問時には、「電子黒板」を使用して傍聴者にもわかりやすく対応しているとのことでした。また、町HPにも一般質問者と内容及び開始時間が掲載されることで傍聴者が今後増えるとのことでした。

災害対応時には、タブレット端末を用いることで情報が瞬時に把握できとても便利との意見もありました。



タブレットを体験する議員

今後、本町でもペーパーレス化に向け、開かれた議会を目指し調査研究を進めていきたいと思えます。

原口 剛 記

群馬県吉岡町議会・議会広報常任委員会

視察
受入

住民と議会を結ぶよりよい議会広報を目指して

■ 令和5年2月15日実施 ■ 場所：千代田町役場 全員協議会室

県内でも議会広報に力を入れている自治体の一つでもある吉岡町議会 議会広報常任委員会の皆様が来庁されました。今回は、「住民と議会を結ぶよりよい議会広報」をテーマに編集方針やスケジュール、役割分担等について研修されていきました。

本町よりも少ない6名の議員で編集作業を行っていますが、素晴らしい内容の広報に我々も勉強させてもらいました。町民の皆さんに読んでもらえる議会だよりを目指してより良い意見交換となりました。



大澤 成樹 記

コメント 吉岡町議会広報常任委員会
廣嶋 隆 委員長

今回、住民と議会を結ぶ議会広報誌にする目的で研修を依頼したところ、年度末を控え大変お忙しい時期にもかかわらず、視察研修を快く受け入れていただき感謝申し上げます。

議会広報編集委員会の皆さまから、編集の基本方針・親しまれる紙面づくりの工夫・作業工程や役割分担などについて、具体的に詳しく説明をいただきまして、大変参考になりました。本日の研修を生かし、議会だよりの充実に向け取り組んでまいります。

千代田町議会の皆さま、ありがとうございました。



WELCOME MY TOWN CHIYODA ようこそちよだ Vol.3

町内に移住した方にインタビュー。移住のきっかけや町の魅力について聞きました。

移住して3カ月
さいとう かずお
齋藤 和夫さん（舞木）
日系ブラジル人
母・姉夫婦の4人暮らし

移住した理由は？

以前は大泉町のアパートに住んでいました。なかなか思うような土地がなく、千代田町にたどり着きました。

本町の良いところ、自慢するところ

川せがきは大泉町からも見ることが出来ましたが、今年は近くで見ることが出来るのでうれしいです。

こうしたら、もっと良くなる千代田町

会話は出来ますが、日本語は読めないので広報紙は日本語のわかる人に読んでもらっています。大事な部分は多言語で案内してもらいたいです。

移住を考える人に一言

千代田町は静かでいいところです。引っ越した周りの方も親切にしてくれます。



移住した方大募集

本町に移住した方を紹介します。自薦他薦問いません。ぜひご応募ください。▶議会事務局 TEL.86-7009

ちょうどいいね ちよだぐらし

移住・定住 詳しくはこちら

議会を傍聴しませんか？

次回の定例会は、**6月5日** 月～**6月9日** 金の予定です
(一般質問は初日の午前9時からです)

会議録は町のホームページからご覧になれます [千代田町議会](#)
本号に取材協力いただきました皆様、ありがとうございました。

あなたの声で 議会が **変わる**

読んでもらえる議会だより「大河」を目指して、広報編集委員会が議会だよりの作成に取り組んでいます。これからも町民の声を聴き、大河で届けていきます。町内で議員のインタビューを見かけたら、ご協力よろしくお願いします。

あなたの声
ご意見
ご感想
どんなことでも

議会広報編集委員会

委	委	委	委	委	委	副	委
員	員	員	員	員	員	員	員
金	橋	酒	橋	大	森	原	大
子	本	巻	本	谷	口	澤	
浩	博	広	和	純	雅	成	
二	之	明	之	一	哉	剛	樹



今号の表紙 ～笑顔の旅立ち～

東西小学校の卒業式で、小雨を吹き飛ばす程の笑顔で6年間学んだ学校や先生方にお別れをしている一コマです。コロナ禍で学校生活は変化してしまったけど、立派に成長し、旅立とうとしていた卒業生達を見たら、たくましく感じました。これから始まる中学校生活は輝かしいものになりますように！

議会だよりに掲載された写真を無料で差し上げます。詳しくは議会事務局まで ☎(86)7009